

第2回 ノートは第二の脳 OUTPUTのために使おう！

学びの科学 ～AIにはない人間だけが持つ創造力と感性を確実に高める方法とは～

今回は、授業の理解度を上げるためには、OUTPUTを意識することが非常に大切だとお話しました。今回のテーマはノートについてです。皆さんはノートをただ単に板書を写すだけのINPUTに使っているのではないのでしょうか？実は、授業で教わったことを一度自分の頭に入れて、それをノートにOUTPUTするように「意識」を変えるだけで、定着度は大きく高まります。OUTPUTできた知識は、自分の思い通りに活用できる「自分の身体化された知識」となるからです。

合格者のノートを集めて、「東大合格生のノートは必ず美しい」という本を刊行した太田あやさんと月間100万人以上が利用するノート共有アプリ「Clear」の開発者、新井豪一郎さんの対談から、「ノート」が学びの重要なカギとなることが分かりました。

ノートが汚いけれど勉強ができる人はいます。しかし、ノートをきちんとまとめているのに勉強ができない人はいないそうです。ノートを自分の「第二の脳」と捉える人もいます。まぎらわしい用語など、自分の頭の中にあるモヤモヤの情報を、わかりやすく図や表に書き表すことで脳内をスッキリ「見える化」することができます。

また、ノート共有アプリなどで、いろいろな人のノートを参考にすることも大変良いでしょう。

キーワード	本	欄	計算欄、疑問など
証明	問題	円周率が3.05より大きいことを証明せ	どういふ方向で問題を解くか？ 大きな方針(大局観)を書こう！
図形	問いも書いておくといつて		
複合	もノートだけで復習できます		
	半径5の円に内接する図形を示す		代数で解く 不等式
			図形で解く 正多角形 座標 面積
あとで見て「関連づけ」たり「検索」できるように「キーワード」を付けておこう！		(0,5), (3,4), (4,3), (5,0) は全て 半径5の円の周上の点で ある。よ	4(√10 + √2 + √10) = 30.955 10π 3.05
	要点や気づいたことを20字程度でまとめる ポイントや気づきを短い言葉でまとめることで「書く力」や「考える力」が飛躍的に伸びていきます！		入試答案を意識して誰が見ても分かるよう仕上げよう！
			計算やメモ、下書きなどは、分けて書いておこう！

上の図は、数学演習ノートの一例です。現在、多くの国の答案用紙は解答欄がなく「白紙」です。日本の大学入試もその方向にシフトしています。難関大学の二次試験をよく見てください。求められているのは、決して細かい知識ではありません。基礎知識や本質的な理解に基づいて、自分はどのように考えるか、根拠を示して論理的に分かりやすく表現することです。そのために普段から、ノートはもちろん、Nマネージャーやポートフォリオ、部活動日誌などを、自分のOUTPUTの練習場として大いに活用しましょう！

現在、メモの取り方に関する本が大変売れています。見た目は全く異なる分野がメモを見返すことで、実はどこかでつながっていることに気づくことがあります。この「気づき」がすごく重要なのです。そこから新たな世界が広がるからです。

AIにはなく人間だけが持っているものが「感性」です。「書くこと」は自分の感性や創造力を総合的に表現できる人間だけに許された「業」です。

だからこそ「書くこと」を大切に、創造力と感性を高めていって欲しいと願っています。